

賞を頂いてからの一年

朝日町立さみさと小学校六年 酒井 怜奈

今年の今頃、神社庁というのにも初めて聞く私が初詣について書いた作文が思いがけず入賞し、射水神社の表彰式では入賞者を代表して玉串を奉納することになりました。口から心臓が飛び出すかと思うくらい緊張しました。とても貴重な経験をさせていただけいたと感謝しています。その時ただい大伊勢神宮の土鈴や階段ダンスの一番上に鎮座していても見守って下さっているように感じます。

また伊勢神宮に参拝することになりました。外宮の入口でコートを脱ぐと、寒いだけではない不思議な空気を感じました。さらに内宮に進んだ時、朝からホッと降っていた雨も止み、ことばに表せない厳かな雰囲気です。あの心地よい緊張感を生まれて初めての体験でした。富山市での朗読会にも参加し、親子で来年のメ縄を作ってきました。その時ただい大

鉢植えの神宮の神は、観葉植物のよう窓際

に置かれ、祖母が水遣りをしながら庭に地

植えできないまで元気でいられるかしら、と言

って世話をしています。神宮から帰ってから、

我が家では神社がしても身近に感じられ、家

族全員で神道や神社について調べました。お

正月のメ餅りや鏡餅などについても今までは

既製品のメ餅りを買ったり、生のお餅は固く

なったり、カビたりするからと真空パックで

時には中味が砂糖の年もあったり、来々

は原点にかえて、キッチンと神様をお迎えする

のだと張り切っています。この年まで生き

てて良かった。怜奈のおかげで神道について

勉強もできたから、今度のお正月はいつもと

り一層清々しく迎えられようだよ、と言って

くれました。

私の家は、わすか三軒あまりの町内で、

現在、兼業農家が半数程です。小さな社です

が年に五、六回神主さんが来られて祈とうし

ていたいただきます。春祭りには、農作業の安全と

豊穰の祈り、秋祭りは収穫のお礼など農業と深くかかれています。元々日本は農業と漁業の国だ、たのびと改めて思いました。仏教の行事だと思っていたお彼岸やお盆も仏教が伝わる前からの祖先祭祀で、神社の行事でもあるとは驚きです。一年中、日々の生活と共にある感じですか。

来年のお正月も桃の節句も、本来の意義も知って、きつともつと味わい深いものになるかと楽しみです。でもこれも射水神社や伊勢神

宮参拜の機会も与えていただきおかげで改めて感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。とうございしました。今年の良いことがたくさんありました。作文コンクール入賞や英検四級合格など努力が報われて嬉しいです。

来年は中学生。期待よりも不安でいっぱいですが、神様、来年も私の頑張る姿を見守って下さい。よろしく願います。